



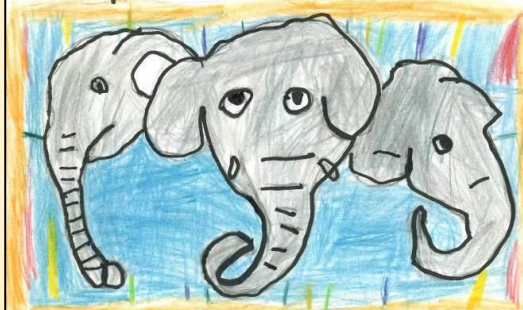
第11回全国家読 ゆうびんコンクール

読書推進賞

ママへ

ママ、どんぐりってたべられるってしてた？
どんぐりって、いろいろなしゅ
るいがあるんだって。
どんぐりで おもちも
つくれるんだよ！
「どんぐりノート」をもって
みさとかうえんへ どん
ぐりを ひるいに いこう！
たまな より

おかあさんへ



ぼくは、かわいそうなぞうの本を
よんで、ちややうぶつがたさん
きづついて、かなしいきもちになったよ。
せんそうは、いやだな。まんどうぶつ
えんのおはかりにお花をあげて
いこうね。

ゆうせいより

琉生へ

ひとりでえほんをよむことが
できるようになった琉生。
まだしもじうで、なからでない
こともあるけれど、いっしょけんめい
ひらがな、カタカナをよんでいて、
すごいなあ。大きくならなあと、
ママは、とてもうれしいです。
「すっほんぼんのすけ」はおにいちゃんが
琉生とおなじねんちゅうさんのころによく
よんでいたえほんです。
おふうあかりに、パンツもはかすにえを
とびだしていくヒーローなの!! びっくりしちゃうね。
はたごかんぼうでも、つよくてやさしいヒーローで、
たにがいかたに、とてもユニーク。
そして、おはなしのなかで、とても
とってもおもしろいです。

琉生は、にんじやおとのさまをよんで
いるかな? そういうおもしろいひととかが
つかって、いまではあまりみみにし
ないことばが、たくさんでてきま
す。こえにだしてよると、たのしくて、あか
るいきもちになるよ。
ママは、このえほんをよむと、ちいさい
ころをおもいだすんだ。大じいじと
にんじやおとのさまがでてくるじだい
きき、よくテレビでみていたの。なつかし
いあたたかいきもちになります。
このえほんを、琉生と
いっしょによんだら、
どんぼほんのうを
してくれるのか、
とてもたのしいです。
また、とほかに、よって
いろいろなえほんを、つづけて
いっしょによもうね。
ママより

にじいろの さかな



おかあさんへ

ぼくはこのほんをよんで、
じいさんにしかない大せつな
おのは、ひとりじめするんじや
なくて、みんなにわけてあげ
たほうが、しあわせになれる
んだって、わかったよ。ぼくも、み
んなにやさしくできる人になりた
いな。かんばるね。

やまと より

片耳の
大しき

お母さんへ

私は「片耳の大しき」をよんで、私達人間
も地球の生き物の一
員だと強く感じたの。
地球の自然の中で
共にくらす仲間だ
からあの時人間を愛
し入れてくれたんだと
思うよ。もしかしら
この物語の人間も、同
じ気持ちになったか
ら、またなにかあるか
ね。お母さん、いつか
で夏島に行き、み
たいね、夏島の森の中
で、ぶどう色のひまわ
りを片耳の大しきに
会えるかな。華音より





第11回全国家読 ゆうびんコンクール

読書推進賞

世界がもし100人の村だったら

たいろへ

たいろは、自分はめぐまれていると思ったことはあるかな？ 私は、この本を読んで自分の生まれたかんきょうがどれだけめぐまれているかあらためて実感したよ。この本は、63億人もいる世界の現状を、100人の村にまとめてわがやうく説明してくれたお話だよ。日本は飲み水もきれいだし、豊かで安全な国だけれど、世界には雨風をしのぐ家がなく、きれいで安全な水が飲めなく、満足に食事をとることかてされ、日々空爆やしゅうげきにおびえる人々も数えきれないほどいるんだって。今のめぐまれている日常を当たり前と思わず、日々感謝しておたがいをささなくちゃいけないね。



僕は、そして僕たちはどう生きるか

梨木 香歩

—— やあ。よかったら、しんにあいだよ。
気に入ったら、しんが君の席だよ。 ——

お母さんへ
この本は、主人公の「ユベル君」はあつと学校に行っていない不良の「ユージン」から、学校に行かなくなったまっかけの出来事を聞き、自分（主人公）とく見遇いしてしまっていることが、ユージンと深く傷つけていたことを知る。人は一人で生きられない。

他人と関わり、社会の中で生きていくものだから、しんは当然のことだが、他人に助けを求めなければならない人だ。この本を読んで、しんは、その意味の「大切さ」について分かった。また、人が生きていくには「人」ではなく「群れ」でいることの重要性も分かった。誰か、誰かのヒーローになれる。そんなことがこの本を読んで知れた。私（しん）は、この「群れの体温」がどれほど必要としている人に出会ったか、助けてもらった。最後に、お母さんへ私の「ヒーロー」だよ。

しんがかりも私の「ヒーロー」だよ。お母さんへ 玲奈より

